No.41 TOHOKU UNIVERSITY GAKUSEIKYO DAYORI 2011.6.1
41
2011.6.1

学生協だより

GAKUSEIKYO DAYORI

TOHOKU UNIVERSITY

東日本大震災による被災状況についてお知らせします

3.11東日本大震災の発生後、本学では、直ちに災害対策本部を設置し、学生・教職員等の安全確保・安否確認、並びにキャンパス環境の安全確保に全力で取り組んできました。幸い本学キャンパス内では安全が確保され、人的被害はありませんでした。しかし、津波により、学部生2名と入学予定者1名の尊い生命が奪われてしまいました。今回の学生協だよりでは、地震発生後に調査した震災によるけがや住居の損壊、授業再開後に登校が可能かなどの被災状況についてお知らせします。(下表参照)

学生のけが、住居等の被災状況(2011.5.13現在)

区分	けが等の状況				住居の被災状況			授業開始後の住居			
	無傷	軽症	重傷	死亡	全壊	一部損壊	被災なし	震災前と同じ	実家、親戚、知人宅等	避難所	転居先
日本人	12,321	12	1	1	26	540	10,345	10,633	95	0	249
留学生	971	1	0	0	3	71	729	743	24	0	39
計	13,292	13	1	1	29	611	11,704	11,376	119	0	288

※ 本表には、平成22年度卒業・修了者及び平成23年度入学者は含まれていません。

震災により登校できない学生の状況
(2011.5.10現在)

登校できない者(右欄を除く)	休学及び休学予定の者	他の大学院での研究継続者	計
20	47	10	77

津波による課外活動施設の被災状況

東日本大震災は、本学の教育研究施設に多大の被害をもたらしたばかりか、課外活動施設にも被害を及ぼしました。なかでも、津波により、学友会ヨット部合宿所(七ヶ浜町)が流失し、また、改修工事中の漕艇部合宿所(名取市)が2階まで浸水してがれきが流れ込むなど、沿岸地区の施設は甚大な被災を蒙りました。

学友会ヨット部合宿所(七ヶ浜町)

津波により流失

学友会漕艇部合宿所(名取市)

震災による内定取消し及び自宅待機の状況(2011.5.20現在)

今回の震災で、就職先が津波により被災したため1名が内定取消しとなり、12名が自宅待機となりましたが、うち9名が待機解除となりました。

2012年3月卒業に向けて就職活動中のみなさんへ

キャリア支援センターでは、就職活動中の学生への支援として、**①ガイダンス・セミナーの開催**、**②個別相談の対応**、**③求人情報の提供**、に力を入れています。

これらキャリア支援プログラムの予定は、キャリア支援センターのホームページ及びモバイルサイトで確認することができます。詳細を確認の上、ぜひご利用ください。

【キャリア支援センターウェブサイト】
http://www.career.he.tohoku.ac.jp
【同モバイルサイト】
http://www.career.he.tohoku.ac.jp/mobile/index.html

センターでは、講義、ゼミ、研究(実験)等でやむを得ずガイダンスへ参加できなかった学生のみなさんのために、講演内容を録画したDVDを視聴できるサービスを開始しました。

視聴可能なガイダンス等

前期キャリア・就職ガイダンス
(対象:学部4年生・修士2年生・博士3年生)
- ①「震災後の就職活動の現状～就職活動をリスタートするにあたり～」
- ②「震災後の就職活動の進め方～大学院生の就職活動と研究活動の進め方～」

前期キャリア・就職ガイダンス
(対象:学部3年生・修士1年生・博士2年生)
- ③「文系の進路選択・就職活動について」
- ④「理系の進路選択・就職活動について」

※希望者は、電話(022-795-4705)予約願います。

震災によるストレスや、悩み、相談先!?

震災により、大学では学生のみなさんがこれまで以上に安心して学生生活を送ることができるよう、学生支援の充実に向けて尽力しているところです。

今回の震災では、被災されなかった方でもテレビのニュースなどで被害の大きさを見聞きし、知らず知らずのうちにストレスとなっている方が大勢います。ひとりで悩まずに、いままで以上に大学の窓口等を活用してください。

災害ボランティア活動等に参加したみなさんへ

災害時にボランティア活動等を行ったことにより、からだや気持ちに様々な変化(ストレス反応)が起こることがあります。これらの反応は、今回の震災のような大規模な災害に対する正常な反応で**「惨事ストレス」**と呼ばれるものです。ストレス反応のあらわれ方や強さは人によって異なりますが、災害を経験した誰にでも起こる症状です。悲惨な光景を目撃したり、所期の目的を果たせなかったという思いにさいなまれたりした結果、**寝付けない**、**気持ちが落ち着かない**、**勉強が手につかない**、**無力感を感じるなど**、こころやからだに変化が生じます。こうした場合はひとりで悩まずに、友人や家族などの身近なひとにだけでなく、気軽に学生相談所や保健管理センター等に相談してください。

ボランティア活動とストレス　検索

日本赤十字社「ボランティアとこころのケア」　検索

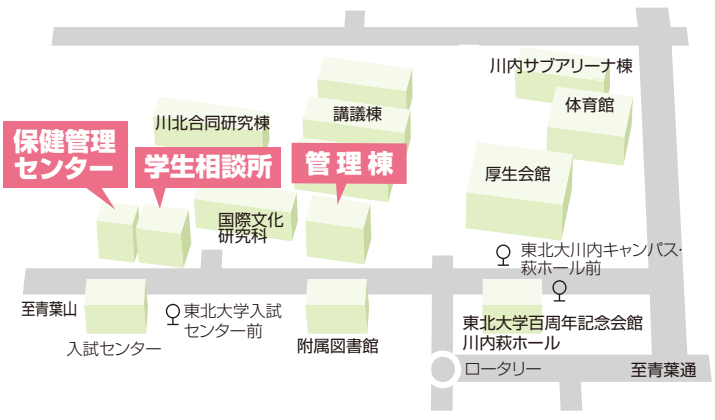
川内北キャンパス

こころとからだの悩みなど
- ·学生相談所(022-795-7833)
- ·保健管理センター(022-795-7829)

進路、就職活動など
管理棟⑧窓口:キャリア支援センター(022-795-7770)

奨学金、授業料免除など
管理棟③窓口:経済支援係(022-795-3946)

学寮、仮設住居への入居など
管理棟④窓口:生活支援係(022-795-3943)

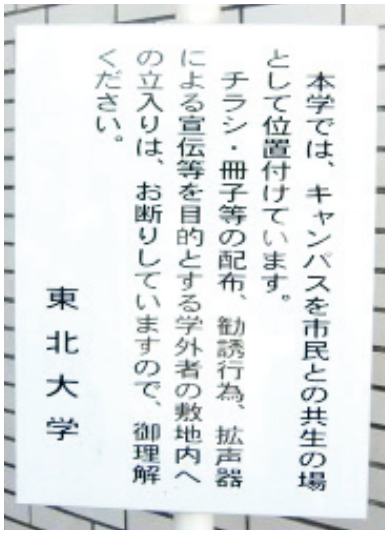


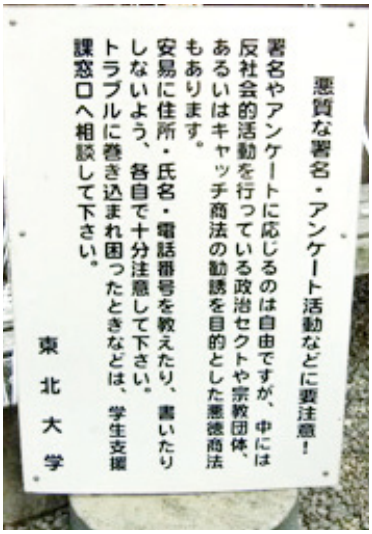
アパート訪問による勧誘が横行しています

新学期がスタート後、**「人材育成の参考としてアンケートをお願いします」**と夜間にアパートを訪問し、**「東北大学を志望した理由は?」**、**「あなたの夢は?」**などの質問といっしょに、携帯電話やメールアドレスを聞き出し、後日、キャンパスで待ち合わせて団体への加入を求めるという事例が報告されています。訪問を受けた学生は、訪問者が東北大生だと名乗るため、親近感を抱いてしまい、つい教えてしまっています。こうした訪問は、宗教団体と密接に結びついた勧誘である場合が多く、宗教団体名を名乗らずに活動に引き入れようとします。本学に登録を認められたクラブやサークルであれば、夜間にアパートを訪ねて加入の勧誘をすることはありません。

一方、学内では、学外者らが、学友会の入部勧誘に紛れてスポーツや反原発などを話題に、宗教や政治などの学外組織に誘い込む活動が確認されています。そのほか、キャッチセールスなどの悪徳商法(詐欺)もありますので、被害にあわないよう注意してください。

本学では、キャンパスにおいて学外者を伴う外部の組織的な活動を禁止しています。 特に「学外者によるチラシ、冊子等の配布、勧誘、拡声器による宣伝等を目的とする行為をお断りしている」旨の掲示を行っているところです。



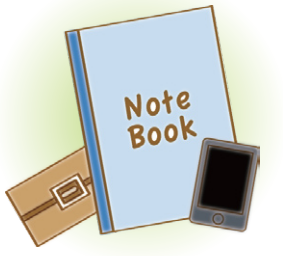


不審な勧誘などで困ったとき、それを目撃したとき

川内北キャンパス
学生相談所(022-795-7833)
管理棟②窓口:支援企画係(022-795-7818)

身の回り品の管理はしっかりと!

新学期以降、学生支援課窓口には例年以上の落し物・忘れ物が届けられています。多くは自転車の鍵ですが、なかには教科書、ノート類のほか、財布や携帯電話などの貴重品も含まれています。自分の持ち物には、持ち主がわかるように学籍番号などを記入してください。持ち主がわかる物については、大学(学生支援課)から連絡します。



5月31日現在の届けられた物品の件数 **189件(うち財布が21件)**(昨年4月・5月は各95件)

自転車はツーロックを!

川内北キャンパスにおける5月の自転車盗難件数は2件でした。再三お知らせしていますが、川内北キャンパスは自転車盗難多発地帯です。自転車については、ツーロック(二か所施錠)してください。

アンケート

新入生特別セミナー「安全・安心にキャンパスライフを送るために」

5月7日(土)に全学オリエンテーションと併せて新入生特別セミナー「安全・安心にキャンパスライフを送るために」が行われました。このセミナーは、偽装勧誘、契約トラブル、飲酒、薬物等の危険を回避し、ストレスや不安を解消して、充実した学生生活を送ることができるよう実施されたものです。

当日は、特に新学期に多い**「正体を隠した勧誘、悪徳商法等の不審な勧誘」**について、席上でアンケートの記入をお願いしました。その結果、参加者2,363人中、1,236人から回答があり、回答者の25人に1人が不審な勧誘を受けたことがありました。勧誘された場所としては、川内北キャンパス、星陵、青葉山各キャンパス、自宅アパート、なかには入試の帰り道、仙台駅前、八幡町のスーパーマーケットなど、学外の記入がありました。セミナーの内容については、9割以上から役に立つとの回答がありました。

そのほか勧誘された内容や受講の感想について、主なものをお知らせします。

どういった勧誘内容だったか?(自由記述)

- 東北大生を名乗る女性2人組がアパートにアンケートをとりに来たが、怖かったので断った。
- 人材育成を目指していると誘われ、団体のマンションに行き、その後数回やり取りしたが、友達から怪しいとアドバイスされ、無視することにした。
- スポーツとボランティアをやっていると誘われたが、不審に思い連絡先は教えなかった。
- 団体名はわからないが、西公園のサッカーに誘われた。
- 外国人二人組にゴスペルコンサートに行かないかとスーパーマーケットで誘われた。
- 反戦デモ、渋谷でデモを起こそうというもの
- 外部組織と結びつきのある団体を放置して置くなど論外だ。大学として強く規制すべきだ。非常に有害である。
- 入試の際、寮の勧誘がしつこかったが無視し続けた。
- 一度断ってもしつこく勧誘してきた。個人の選択の自由を尊重してほしい。

セミナーを受講しての感想は?(自由記述)

- おもしろかった、参考になった。
- 見知らぬ勧誘には疑う心を持ち、断る力を養おうと思う。
- 自分の盲点がわかり、記憶に留めることができた。
- 勧誘についての説明が、自分が受けたものと同様だった。
- 勧誘を受けたことがない人でもわかりやすい説明だと思った。
- 簡単に自分の情報を他人に教えないよう気をつけたい。
- 改めて気を引き締めることができてよかった。
- 身近でどんな団体が活動しているか具体名や例がほしい。
- 公認団体には証明書を発行して活動させるべきだ。

このパンフレットは「水なし印刷」により印刷しております。
VEGETABLE OIL INK 環境にやさしい植物油インキ「VEGETABLE OIL INK」で印刷しております。